

政権交代の心理と論理 有権者・若者・政治家の心理分析

北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター主催 講演会

歴史的な政権交代を経て日本はどこに行くのか。このプロセスは、人々の、政治家のどのような心理に支えられているのか。かつて民主党の衆議院議員をつとめ、政治家と若者の心理に精通した精神科医の水島広子氏を招き、政権交代の心理と論理を徹底討論します。



講師 水島広子氏（精神科医・元民主党衆議院議員）

講師プロフィール

慶応義塾大学医学部卒業、同大学院修了（医学博士）。慶大医学部精神神経科勤務を経て、民主党候補として2000年6月の衆議院選挙で栃木1区から初当選。2005年8月まで2期5年間をつとめる。衆議院議員在任中は、主に厚生労働委員会と青少年問題特別委員会に所属。現在、アティテューディナル・ヒーリング・ジャパン代表、水島広子こころの健康クリニック（対人関係療法専門）院長。

討論者



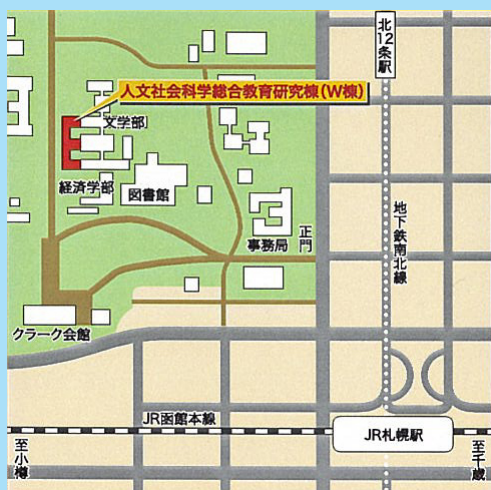
中島岳志氏

（北海道大学公共政策大学院准教授）



宮本太郎氏

（北海道大学法学研究科教授）



日時： 2009年11月16日（月）18:00～20:30

会場： 北海道大学人文社会科学総合教育研究棟
（W棟） W301室

※駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

※入場無料、事前申込不要

お問い合わせ

北海道大学大学院法学研究科
附属高等法政教育研究センター

TEL/FAX：011（706）4005